

平成 24 年度 授業評価・授業研究報告書

保健体育講座・石井 浩一

1. 授業概要

科目名：スポーツ文化論

担当教員名：石井浩一

登録学生数：12

1-1 授業の目的

今日、スポーツを文化の1つとして定着させていくことが求められている。本授業では、スポーツおよび体育を、時間と空間の両方の視角から考える素地を養う。

1-2 授業の到達目標

1-2-1 体育・スポーツの歴史的流れをおおよそつかむことができる。

1-2-2 スポーツを文化としてとらえるには、何が必要かを説明できる。

1-2-3 スポーツを、競技一辺倒で考えない態度を養うことができる。

1-3 関連するディプロマ・ポリシー(DP)

1-3-1 教育及び専門分野に関して高度な専門的知識を習得している。(知識・理解)

1-3-2 教育をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的な知見をもとに、その対応方策を適切に考えることができる。(思考・判断)

1-4 授業の方法、形態

教科書(石井隆憲編著『スポーツ人類学』、明和出版)を事前に購入させ、教科書を元に授業を行った。重要な箇所は板書し、適宜質問に答えた。2回目以降は原則授業の冒頭で5分程度の小テストを行い、予習・復習を促す工夫を行った。最終回に期末試験(筆記試験)を行い、評価した。

1-5 内容の概要

第1回：ガイダンス

スポーツ文化論を学ぶ意味について

第2回：小テスト

スポーツ人類学とは何か

第3回：小テスト

スポーツ人類学の現在

第4回：小テスト

スポーツと儀礼・宗教(1)

第5回：小テスト

スポーツと儀礼・宗教(2)

第6回：小テスト

植民地主義とスポーツ文化の拡大

第7回：小テスト

スポーツにおけるエスニシティとナショナリティ

第8回：小テスト

スポーツのシンボリズム

第9回：小テスト

文化政策としてのスポーツ

第10回：小テスト

スポーツの記憶と歴史(レポートを書く)

第11回：ルールと慣習

第12回：小テスト

観光・開発・国際援助とスポーツ

第13回：小テスト

スポーツ・ジェンダー・フェミニズム

第14回：小テスト

スポーツ人類学の研究法

第15回：期末試験

1-6 今年度、特に意識して取り組んだこと

1)できるだけ具体的な事例を出して、理解を深めやすいようにした。

2)原則として毎回小テストを行い、予習・復習を促すようにした。

3)受講生が質問しやすいような雰囲気づくりをした。

4)授業中に、適宜受講生に質問を投げかけ、その場で自分の考えをまとめて答えさせるようにした。

2. アンケート結果

Q1 教員の話し方や説明はわかりやすいですか？

とてもわかりやすい：4

まあまあわかる：8

わかりにくい：0

全くわからない：0

あまりそう思わない：1

全くそう思わない

Q2 教員の進度は適切ですか？

かなり速すぎる：2

やや速すぎる：3

適切である：7

やや遅すぎる：0

かなり遅すぎる：0

Q3 授業のレベルは適切ですか？

かなり難しすぎる：2

やや難しすぎる：9

適切である：1

やや易しすぎる：0

かなり易しすぎる：0

Q4 教員は、授業を改善するよう努力していましたか？

改善の必要がなかった：3

そう思う：7

あまりそう思わない：2

全くそう思わない：0

Q5 シラバスに即した内容の授業が行われていましたか？

とてもそう思う：4

まあそう思う：8

あまりそう思わない：0

全くそう思わない：0

Q6 あなたは、シラバスに記載されているこの授業の到達目標に達したと思いますか？

とてもそう思う：1

まあそう思う：9

あまりそう思わない：1

全くそう思わない：1

Q7 この授業は全体的に満足のいくものでしたか？

とてもそう思う：0

まあそう思う：11

Q8 この授業の良い点について書いて下さい。

○小テストが勉強になる。

○質問ができる雰囲気なこと。

○基本的な例を説明してくれるので、イメージしやすくわかりやすかった。

○説明をしっかりとしてくれて、質問してもしっかりと答えて、プラスアルファの情報を言ってくれる点。

○小テストのおかげで大切なところを理解できた。

○自分の知らないことを知ることができた点。

Q9 この授業の改善すべき点について書いて下さい。

○予習の量が多い（2名）。

○レベルちょっと高い。

○重要なワードを抜粋するとその周辺を主に学習できると思った。

○書く量が多い。

○小テストの解答をもう少しゆっくりしてほしい。

○重要な点をもっと言ってほしい。

3. 総括

アンケート結果から、次年度への改善点を述べたい。

1) 重要なワードつまりキーワードを提示すべし、という意見は尊重したい。次回からはキーワードをしっかり覚えさせる工夫をしたい。

2) 小テストの解答をもう少しゆっくり、という意見も尊重したい。次回からは気をつけたい。

次に、授業目的、到達目標、DPを踏まえて総括すると、目的の設定は問題なかった、といえる。しかし、到達目標 1-2-1 については、今回「体育史」の受講生がいなかった（「体育史」と「スポーツ文化論」は合同授業）ため、授業の内容がスポーツ文化論に終始してしまった。関連 DP は先述した 2 つで、しっかり対応した内容になっていたと考える。